

テクニカルニュース

1997年 6月 10日

表 題 SW3NX - GPPAをDOS互換ボックスで使用する時の制約事項**適用機種** SW3NX - GPPA

三菱汎用シーケンサMELSEC - Aシリーズに格別の御愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
SW3NX - GPPAソフトウェアパッケージをWindowsのDOS互換ボックスで使用する時には、次の制約事項がありますのでご連絡いたします。

1. A6GPP変換(A6GPP PC9800シリーズ、PC9800シリーズ A6GPP)は行えません。
変換する場合は、DOSモードまたは、MS-DOSで行ってください。
2. **SW3NX-GPPAは、Windows3.1のDOS互換ボックスで使用できません。**

・Windows95のDOS互換ボックスでオンライン操作を行う場合は、下記の設定が必要になります。

(a)通信ドライバを外す。(本テクニカルニュース 2/8 ページ参照)

(b)MS-DOSのプロパティで"MS-DOS プログラムにWindowsを検出させない"がチェックされていないか確認する。(本テクニカルニュース 7/8 ページ参照)

・上記設定を行うことにより、下記の制約事項が発生します。

通信ドライバを外したままで、ほかのソフトウェアパッケージ(SW NIW-AGOTP など)から通信機能を行おうとすると通信できませんので、使用する場合は必ず設定をもとに戻して使用してください。

また、SW3NX-GPPAソフトウェアパッケージの「A,B,C版」は、上記設定を行ってもWindows3.1、Windows95のDOS互換ボックスで使用することができません。

バージョンアップをご希望のお客様については、お手数ですが最寄りの弊社代理店、支社へご相談ください。

*ソフトウェアのバージョン確認方法

FDに貼られている定格名板のDATE欄でバージョンが確認できます。

例 DATE 9702AD(最後のアルファベットDがバージョンを示す。)

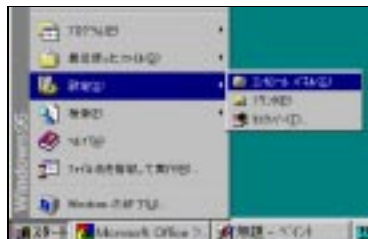
(a) 通信ポートのドライバを外す操作手順

1. タスクバーの"スタート"をクリックする。



クリックする

2. "設定" "コントロールパネル"をクリックする。



クリックする

3. "システム(パソコンの絵)"をダブルクリックする。



ダブルクリックする

4. "デバイスマネージャ"をクリックする。



クリックする

(次ページにつづく)

5. "ポート"をダブルクリックする。



ダブルクリックする

6. 通信ポートは、COM1 と COM2 があれば両方外してください。

"通信ポート 1(COM1)"をクリック(このとき通信ポート 1 の文字が反転表示される)し、画面下方にある [削除] をクリックする。(通信ポート 2(COM2)を削除するときも同じ操作をする)



クリックする

クリックする

7. "デバイス削除の確認"が表示されるので [OK] をクリックする。



クリックする

8. [閉じる] をクリックする。



クリックする

次に、"MS-DOS プロンプトのプロパティ"を設定します。

外した通信ポートドライバを自動でもとに戻す場合の操作手順

外した通信ポートはWindowsを再起動したとき自動検出します。また、ハードウェアウィザードから外した通信ポートを自動的にもとに戻すことができます。

下記はハードウェアウィザードからもとに戻す操作手順を示しています。

1.通信ポートを外す操作手順の1,2を行ってください。

2."ハードウェア"をダブルクリックする。



3."インストールを始めるには [次へ] を押してください。"と表示されるので [次へ] をクリックする。



4."新しいハードウェアを自動的に検出しますか?"と表示されるので"はい"をクリックして [次へ] をクリックする。



後の操作は、画面の指示に従って操作してください。

外した通信ポートドライバを自動でもとに戻せない場合の操作手順

ハードウェアウィザードを選択して外した通信ポートを自動的にもとに戻せない場合は下記操作を行ってください。

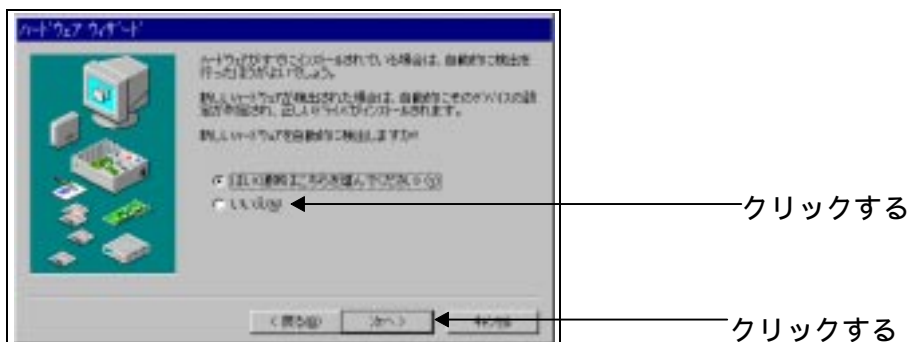
1. 通信ポートを外す操作手順の 1,2 を行ってください。
2. "ハードウェア"をダブルクリックする。



3. "インストールを始めるには [次へ] を押してください。"と表示されるので [次へ] をクリックする。



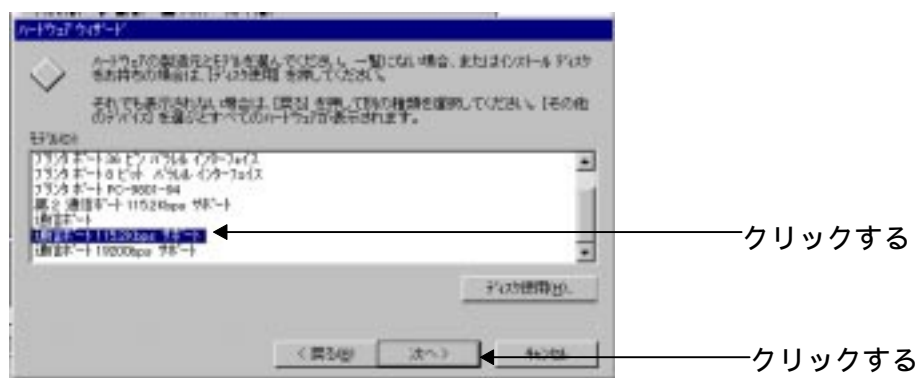
4. "新しいハードウェアを自動的に検出しますか?"と表示されるので"いいえ"をクリックして [次へ] をクリックする。



5. ハードウェアの種類"ポート(COM/LPT)"をクリック(このときポート(COM/LPT)の文字が反転表示する)し、[次へ]をクリックする。



6. 通信ポート 115.2KBPS サポートをクリックし [次へ] をクリックする。

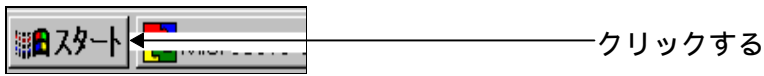


上記操作手順で通信ポート 19200BPS サポートもインストールしてください。

これより先の操作手順は、パソコンの環境によって異なりますので、画面の指示に従って操作を行ってください。

(b)MS-DOS プロンプトの"プロパティ"の設定手順

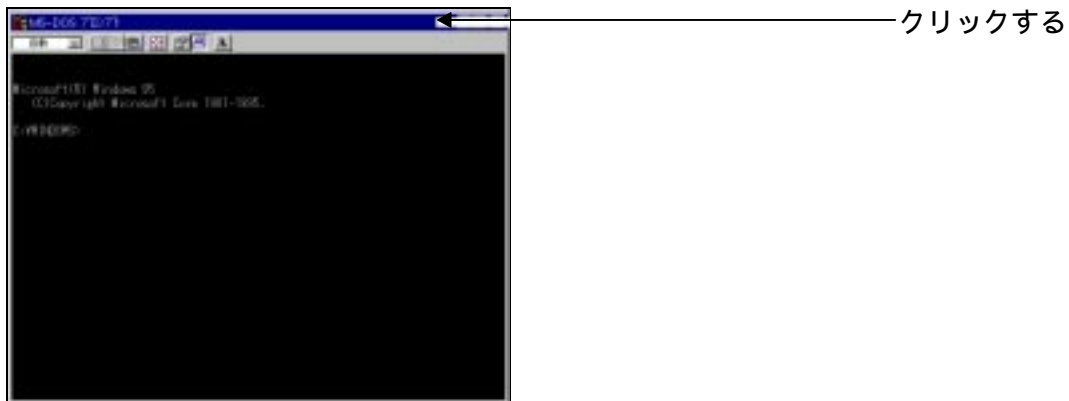
1.タスクバーの"スタート"をクリックする。



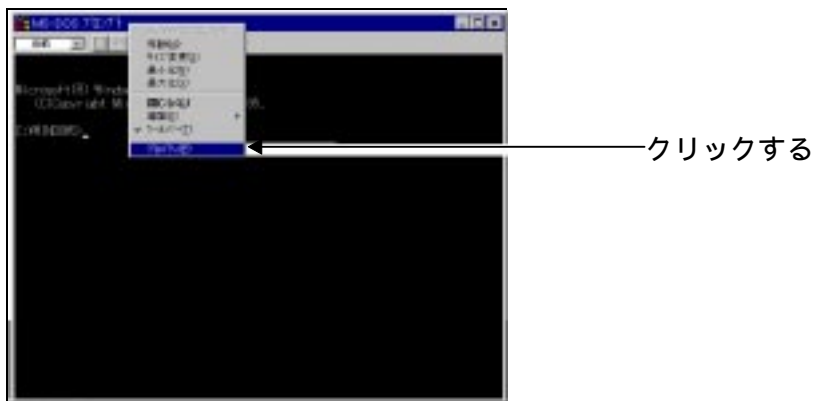
2."プログラム" "MS-DOS プロンプト"をクリックする。



3.MS-DOS プロンプトウィンドウの上部タイトルを左クリックする。

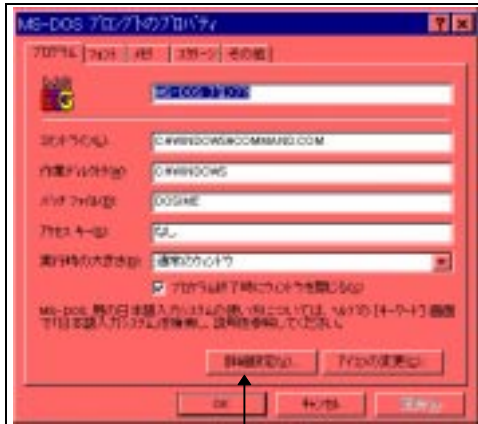


4."プロパティ"をクリックする。



(次ページにつづく)

5. "詳細設定"をクリックする。



クリックする

- ・ DOS 換ボックスでオンライン操作時、通信を安定させるために下記操作を行ってください。
左記画面の"その他"をクリックする
"ほかのプログラムの優先度"の設定を「低」に設定する
- ・ 矢印キーを連続でキーインするとカーソルが移動しない場合があります。
その場合は、下記操作を行ってください。
先画面の"その他"をクリックする。
"バックグラウンド時の設定"のチェックを外してください。

6. "MS-DOS プログラムに Windows を検出させない"にチェックされていないか確認する。

チェックされていると、DOS 互換ボックスで GPP 機能が使用できません。

チェックされている場合は、 をクリックして [OK] をクリックしてください。



クリックする

7. [OK] をクリックして MS-DOS プロンプトを終了し、MS-DOS プロンプトを立上げ直してください。



クリックする

8. SW3NX-GPPA を実行する。

SW NX-GPPQ を実行する。

実行して通信が行えない場合、(b)で示す設定方法を行ってください。